

令和元年度 第 25 回 いかんズ定例会 議事録

東京都立両国高等学校・附属中学校 後援会

■日時：令和元年 12 月 7 日（土）14:00～16:00

■場所：東京都立両国高等学校・附属中学校 視聴覚室

■出席：桜修館-4 名 大泉-6 名 九段-6 名 小石川-11 名 立川国際-3 名
白鷗-11 名 富士-3 名 三鷹-4 名 富士-3 名 南多摩-4 名 武蔵-3 名
両国-14 名 両国教職員（鯨岡校長・小林副校長・杉森副校長）-3 名
（計 73 名）（正式名称略・五十音順）

■議事：（司会進行：両国副会長・北條）

1. 開会の言葉（両国副会長・北條）

本日は寒く足元も悪い中ようこそおいでくださいました。

2. 幹事校 後援会会長挨拶（両国会長・古賀）

いかんズは貴重な機会ではあるが、若干の見直しが必要なのではないか。
桜修館の会長さんからの提案もあり、次年度以降のあり方について意見交換したい。

3. 資料の確認、定例会の進行について（両国副会長・北條）

（資料の説明と定例会の進行についての説明）

代表者が 2 分くらいで話して、事前にいただいている資料を元に意見交換したい。

4. 幹事校 校長挨拶・学校紹介（鯨岡校長）

遠いところ下町の本校にようこそお越しいただきました。11 校が集まるのは素晴らしいこと。

ひとえにそれぞれの学校が特色ある活動をして成果を挙げているから。

自分も各学校に何うが、何と言っても生徒がいい。どの学校も。挨拶がきちんとできる。

笑顔で学校生活を送っているのがすごく印象的。

私ももし生まれ変わることができるのであれば、中高一貫の公立に入って勉強すれば、
もっと違った人生になったのではないかと。（会場笑い）いつも生徒を見ながら思っている。

皆さん全都から集まっているのでそれぞれの学校についてざっくりとお話したい。

（地図を指し）これは東京の地図。西側からいきましょう。

<南多摩> 19 号の台風では裏の坂が決壊間際で大変なことになった。危なかった。

日野橋がぐにゃぐにゃになり復旧の見込みなし。来年辺りに復旧出来たらいいかなぐらい。

八王子は夏はものすごく暑い。冬はものすごく寒い。（会場笑い）

天気予報でも八王子だけ違う天気予報が出る。（会場笑い）

春は花粉で車が真っ黄色になる。東京の盆地。

<立川国際> 以前は北多摩高校と言った。なんでこんな名前になったのか。

実は昔、1、2、3と学校にナンバーがついていた頃、GHQ がそんなのやめなさい、ちゃんとした学校名つけなさいということで、じゃあどうしようかと。

(ちなみに) 多摩地域は、私が小さい頃は「都下 (とか) 」と言った。

「都下」って葉書に書いたら着くんですよ。(会場笑い)

多摩地域なので、「多摩」を学校名にしたい、地元の名前をつけたいと、3校が手を挙げた。

校長先生がジャンケンをして (会場笑い) 勝ったのが実は青梅にある多摩高校。

負けた2校が南多摩、北多摩 (本当は北じゃないけど) とつけた。

(立地は) 立川だが、ほぼ国立。ほとんど国立。(会場笑い)

隣に競輪場もある。ご覧になっていただくと分かるように、東京のへそ、ちょうど真ん中。

余談だが国分寺と立川の真ん中にあるから国立と言う。意外と単純なネーミング。

<武蔵> だんだん東に寄ってくると、武蔵高校がある。武蔵境にある。私はこの卒業生。

小平に住んでいて、玉川上水沿いに自転車で武蔵まで通っていた。

玉川上水は東京の武蔵野台地の一番てっぺん、尾根。

尾根伝いに、江戸時代に人口的に掘った。一番上にあるので、大雨が降っても水は下に流れる。

<三鷹> その下に流れたところにあるのが三鷹。(会場笑い)

三鷹は武蔵野台地の坂になっている。ハケ下と言う。

武蔵野台地の水は全部野川に流れ、多摩川に流れる。

<大泉> 上に行くと練馬。大泉学園は人気の町。オズという映画館がある。

元々は西武鉄道の堤さんが多摩地域・西部地域に学園都市を作ろうということで、

大泉学園 (駅)、一橋学園 (駅)、国立 (駅) を作った。

“学園”なので、大学も誘致。それが国立にある一橋大学。

分校も、一橋学園駅、小平の畑の中に作った。津田塾大学も来た。

大泉学園は残念ながら誘致に失敗。(会場笑い) 学園都市でありながら大学は来なかった。

だが、中心にあるのが大泉高校。学芸大学付属もある。

(というわけで、) 3 学園都市と“私は”呼んでいる。(会場笑い)

<富士> もう少し東に行くと富士がある。まさに一富士“三鷹”三茄子。(会場笑い)

一富士二鷹ですね。その地名から来ている学校。

ぜひこのお正月、初夢には、富士高校の夢を見ていただければ。(会場笑い)

<桜修館> 南に行くと、桜修館がある。以前は都立大学付属高校だった。

都立大学に併設された形で高校があった。今は単独になり、大学も名前が変わって

八王子の南大沢に行った。(桜修館は) 目黒区の立派な施設の学校になっている。

都立大学は駅名だが、「首都大学東京」になって、来年の4月には、また、どういう過程か、

学校の名前が「都立大学」になる。(会場笑い) 確かに首都大学東京と話が出て、

ああ、都立大でしょ、とみんな言うんで、（会場笑い）戻っちゃいましたね。

<小石川> そしてだんだん東に寄ってきて、小石川がある。

小石がいっぱいある川があったから「小石川」。嘘のような本当の話。

大泉もそう。泉がいっぱい沸いていて、泉だけじゃダメだろうと、

でも小泉もみみっちいだろうと、（会場笑い）それで大泉とした。

小石川は、総理大臣が何人も出ている。現役の大臣にも有名な人がいる。

<九段> 靖国神社の坂を「九段坂」と言う。9 段の段があったから。

今はすごくいい地名だが、実は単純。9 段の段差があったという町。

昔東京市という市があったが、その中心がここ。前身の九段高校は、東京唯一の市立の学校。

知らないと思うが、夏はふんどしで泳ぐ。あんまり言わないが。言うと嫌がられるので。（会場笑い）

<白鷗> 女子系では日本一古い学校。初めて日本に高等女学校ができた。ナンバーワンです。

中学校というものが世の中に、日本にない時代に、東京に日比谷と女子の白鷗ができた。

最初の頃の入学生は日本中から来ている。日比谷と白鷗に各県の代表者が入った。

そのうち 2 つ目 3 つ目が出てきて、各県でも中学校を作り、県で中学生が育つようになった。

だから本当に白鷗と日比谷は日本で最初の学校。日本で最たるもの。

動物の名前がついている学校は珍しい。

三鷹もそう。江戸時代の将軍の鷹狩場が 3 つあったので、「三鷹」となった。

（白鷗は）鷗。隅田川に都鳥（みやこどり）のゆりかもめがいるので、

ぜひ帰りの電車で大川を渡るときには、鷗がいるかなと見ていただきたい。

白鷗は、最初は「東京の高等女学校」というだけの名前だった。（1 つしかなかったので。）

2 番目、3 番目の学校ができていくうちに、1 番目は 1 とつけようとなった。

そのうちまた GHQ からやめろと言われて、卒業生の会「鷗友会」から名前を取り、

「白い鷗」で「白鷗」とつけた。いい名前つけましたね。

世田谷の鷗友学園は白鷗が作った学校。日本でも珍しいと思う。公立学校が私立を作った。

<両国> そして最後。橋を渡ると黒いカラスがたくさんいる。錦糸町にあるのが両国高校。

昨年学校の前の木に実がなったときに、錦糸町中のカラスが来て大変な騒ぎになった。（会場笑い）

映画を見ているようだった。何百羽も来たので。

<各学校のルーツ> それぞれ古い歴史を背負っている。

明治大正昭和、何十年何百年と歴史を刻んできている。（各学校のルーツは別紙参照。）

今の中高一貫校は、実は原点に回帰してきている。小学校を出た子どもたちを預かって、

古い時代は 5 年間中学校でやっていた。それに戻ってきている。

<再び両国> 両国駅は、昔は両国橋（りょうごくはし）駅だった。両国という地名はなかった。

武蔵国（西側）と下総国（東側）を隅田川で区切っていた。だからここは昔千葉県だった。

江戸時代の「明暦の大火」という 10 万人がなくなった大火事のと、橋がなかった。

それはなぜかという、橋を渡って攻められたら将軍が困るため。

だから墨田川には千住大橋 1 つしかなかった。そしてみんな川でなくなった。
そこで、町を改造するために橋を作り、江戸の人たちが皆こちら側に来た。
西側には山とか岡がつく学校が多い。川がつくのは小石川だけ。でも小石川も川の上は岡や谷。
戸山、青山など、(学校名に) 岡(山) がいっぱいつく。
東側に行くと、川とか橋がつく高校が多い。これが実はこの土地を表している。
荒川・墨田川・江戸川という大きな川に挟まれている、いわゆる三角デルタ地帯、三角州。
両国高校の名前も最初は両国橋高校だった。

3 つ目の学校ということで学校名をつけることになり、江東橋高校なども検討されたが、
職員会議で多数決をした結果、全国的にお相撲さんで有名になった「両国」を学校名にした。
この地域は不思議なところ。隅田川は「隅」、墨田区は「墨」、墨田川高校は「墨」。

「墨田川」という川はない。なんでこうなったのか、謎。(会場笑い)
隣に隅田川が流れているにもかかわらず、なぜこの字なのか。学校も分かってない。(会場笑い)
今に至って、もう変えられなくなってしまった。そういう地域。下町と言われている。
まもなく終わります。(会場笑い)

これが下町の江戸時代の地図。(江戸時代の地図は別紙参照。)
ちょうど学校はこの辺。この辺が錦糸町。墨田川が流れていて、御岳蔵という幕府の施設(がある)。
ここが国技館だったり、慰霊塔があつたりする公園。上の方の白くなってる辺りがスカイツリーのある場所。
ご覧の通り江戸時代から今と同じ道。横になっているが縦川。横になっているが縦川。(会場笑い)
昔の地図は、回転させないと分からない。昔の地図は江戸城が上。

江戸城に向かうと、横が横川、縦が縦川となる。
一の橋、二の橋、三の橋、四の橋とあるが、ここが四ツ目通り、錦糸町の通り。
非常に単純な名前。切って貼ったようなところ。江戸時代から街並みのある地域。
そして、山・谷のあるところと違って非常に低い。江戸城から下に見えるので下町と呼ばれている。
このちょうど国技館のある場所、戦前は陸軍の被服商だったが、
東京大空襲で爆撃を受け、この辺は跡形もなくなった。10 万人がなくなった。
その前の関東大震災でもやはりここが大災害を受け、町が全滅した。
ですから江戸時代から数えると 3 回目、大きな災害から生まれ変わってきて、今に至っている町。

(最後の資料) これは現在。東側のターミナル駅として非常に多くの人が行き交う。
いろいろなお店があるのでぜひ今日は(立ち寄って)。変な名前のついているお店が多い。
そして街角にはこういう(看板がある)。本当にこれがお役所のやることかという。
「路上喫煙禁止町！」と書いてありますね。(会場笑い)

これ、近所の人と言うならいいんですけどね、警察も含めて言っていますから。(会場笑い)
そういう街だという風にお考えいただければと思います。

つまらない話をちょっと長々としたが、ぜひ皆さんいい交流をしていただきたい。
それは、ひいては学校の力にもなるし、皆さんのお子さん方の将来にもつながっている。

私としては、ここにいる学校だけでなく、それぞれの学校の生徒さんたちが、将来に渡って日本を支える立派な人間に、この「いっかんズ」から育てていただきたいと、心から願っている。若干長くなったが、（会場笑い）以上で学校の案内とさせていただきます。（会場大拍手）

（北條）ブラタモリを見ているようだった。（会場笑い）
豆知識がいっぱいで、早く帰って子どもに自慢したいと思った。

5. 議事・全体会 各校から近況報告・学校紹介（両国除く各校）

<立川国際副会長・石黒> 本校の一番ホットな話題は、小学校建設。一貫校の下に小学校を作る。学校の中でもいろいろ議論が起きている。PTAとしては、作ると決まっていることなので特に言うことはないが、校庭・グラウンドが使えなくなるので外に借りたりすることになりそう。PTAの活動自体は、先週来年度の役員決めをして新しい役員が決まった。現行役員は残り半年を頑張る。これといって周年などもないが、皆粛々と頑張っているところ。今日ここへ来てびっくりしたのだが、鯨岡先生が武蔵高校出身とのこと。実は私も武蔵高校出身。たぶん私より大先輩だと思う。（会場笑い）こんなところで大先輩に会えた。いっかんズをやっているとこういうこともあるんだなとつながりを感じた。

<武蔵会長・松下> 今日南多摩さんと立国さんの間の日野橋のある日野市からえっちらおっちら通って来たが、いきなりけんか売られているなあと思いつつ、（会場笑い）あれ、うちのOBか、というのが分かった次第。（会場笑い）当校も来年度の役員を決めたところ。前回のいっかんズでちょっとショックがあったことがある。それはうちの学校のPTAだけ全員後選会で決まって全員単年度で変わったこと。それを持ち帰って、これは何とかしなきゃいけないと話し合っ、今年規約を変えた。規約の「任期1年」を撤廃、また、人数を見直した。（「会長1人」「副会長2人」「書記2人」「会計2人」の会長以外の後ろにすべて「以上」とつけた。）そうしたところ、全員自薦の方で集まることになった。副会長は6人。なかなかいい手だったと思う。あとは、余剰金が余って会計から怒られていたので、卒業証書入れをPTAから出すことにした。紅白饅頭の焼き印も作った。これはいっかんズのどこかの学校をそっくりパクったもの。（会場笑い）

<富士会長・渡辺> 学校紹介でどんな風に紹介されるのかなと思ったら、うちは一富士二鷹三茄子で終わってしまった。（会場笑い）武蔵さんも言っていたが、けんか売られてるのかなと。（会場笑い）かつて八王子の昭島にかなり長く住んでいた。たしかに気候はおっしゃる通りだが、まあ大きなお世話かなと思いつつ、（会場笑い）興味深く拝聴した。トピックとして、来年100周年行事がある。そのこともあり、ぜひ来年の参考にしたいと、うちの役員が三鷹さんや南多摩さん（の周年行事）に大喜びで出席させていただいた。（私は高3娘の父なので今年度でおしまいだ）おそらく来年11月には

100周年をご案内すると思うので、その折はぜひお越しいただきたい。

前回九段（で開催されたいっかんズ）の会長グループで話した*東公 P の件だが、先週「今後ご遠慮します」というお手紙を送ったら、一応受理されたが、なぜか理由を聞かせろ、面談した意味がない、とも言われた。そのことについてもぜひお話しさせていただきたい。また、新しい取り組み、やりたいことが出てきたので、今日は他校の状況もいろいろ伺いたい。

*東公 P・・・東京都公立高等学校 PTA 連合会

<大泉会長・管山> 学園都市化に失敗したが、（会場笑い）

鯨岡校長からは三大学園都市と認定していただいたので、今日はそれをお土産に帰りたい。

いっかんズの幹事校も終わり、周年も谷間で、のんびり PTA 活動している。

富士さんからも話が出た東公 P の脱退が去年ヤマだったが、うちは面談を拒否して、（会場笑い）さりと抜けた。いまだに会報が来るとときどきする。

（いっかんズで）情報交換していく中で、メールメイトを当校も今年度導入した。

今初回の加入案内をしているところ。その辺りもベテランの学校に話を伺いたい。

来年度の選考が始まったばかり。戦々恐々としている状態。うちは自薦はあり得ない環境。

武蔵さんの自薦で決まる理由をぜひ後でじっくり伺いたい。

今日は副会長 2 人、書記 2 人、会計 1 人が来ているが、来年継続する者、

すっぱり今年で終わる者というので、この後の懇親会で悲喜こもごもを聞いていただければ。

<小石川会長・水野> この半年で無事行事週間等が終わり、粛々と PTA 活動しているところ。

個人的には、今年の夏は**全高 P と***日 P の全国大会に参加してきた。

小石川（の役員）は 18 人と多いが、全国の PTA 会長さんたちと話してみても、

どこの学校も人数を増やすことで（1 人あたりの）仕事を減らしているということが分かった。

役員を選考は来週の土曜日。まだ全然進んでいないが、単年など（という決まり）はないので、

（現行の役員が）皆（引き続き）やってくれると思う。

全高 P・・・全国高等学校 PTA 連合会 *日 P・・・日本 PTA 全国研究大会

<九段副会長・三輪田> 前回 6 月のいっかんズにはお越しいただきありがとうございました。

いっかんズの 2 週間後に PA 主催の歓送迎会という 1 年で一番大きい行事があり、

くたくたになりながらなんとか 6 月を終えた。夏には、先ほど校長先生からもご紹介のあった

ふんどしを履く子どもたちの忍耐行事があり、現地の漁業の方たちにご挨拶しに伺ったりした。

ちなみにあかいふんどしです。（会場笑い）男子はそのまま履く子がほとんど。

女子はふんどしは履きません。（会場笑い）女子は白い腰ひもを水着の上からつける。

10 月の文化教養講座には、オリンピックメダリストの野村さんに来てもらうことになっていたが、

なんと台風直撃で、（ポスターを見せ）こんな立派なポスターまで作ったのに中止になってしまった。

役員を選考は今始まるタイミング。今年は推薦を電子化して集めてみたが、前年度より回収率が

とても下がってしまった。原因として、前年度までは封筒に入ったものものしい書類を渡していたので、

生徒がちゃんと親に渡していたが、今年は投票方法を書いたぺらっとした案内のみだったので、

子どもが親に期日まで渡していないケースがとても多かった。今後やり方の工夫に頭を使いたい。

<白鷗会長・竹田 他> 双鷗会はとても気に入っている名前。

先ほどは（校長先生に）とても素敵なお話をいろいろ聞かせていただき、ありがとうございました。双鷗会は、いつも代表委員がとても多い。本年度は 25 名、うち男性 7 名。今日は 4 名参加。4 人の男子・男の子たちに近況報告してもらおう。（会場笑い）

（副会長・若山）文化祭で行った制服リサイクルが大盛況で終わった。

今回は、行程を簡略化したりと、今までとちょっとやり方を変えた。

マニュアルを残し次世代に引き継ごうと思う。来年もやりたいと思える楽しい会にしたい。

（監事・村田）役員決めについては、春先に入学式や保護者会に乗り込んでいって、決まるまで帰れませんよと。（会場笑い）そこでなんとか決めている。

皆さんのやり方は面白いなと思った。どっちがいいのか。いろいろ教えていただきたい。

（監事・鈴木）近況として、トイレの改修が終わった。（会場笑い）

学年ごとの連絡事項を、紙を使わずメールメイトに順調に移行している最中。

さっそく総会で依頼しているお弁当業者の試食会をメールメイトでやってみた。

人数的には思ったほど多くはなかったが、実際やってみてうまくまわっているなど感じた。

学校が伝統芸能に力を入れている。和太鼓がジュニアコンクール東京大会で優勝した。総会で垂れ幕を 4 枚作成。（台風でボロボロになった経験から、多めに作成。）

<桜修館会長・米澤> 副会長 3 人のうち 2 人が 3 年任期を終えて終わりになるので、副会長選びに苦労している。私はなぜか、やりますか？ともなとも言われなまま

（会長を）やることになった。（会場笑い）酔ったときにやると言ったと。（会場笑い）

規約を改正して 5 年やると言っていたそうだが、覚えていない。規約では、最長 3 年。

今年はラグビー W カップがあった。提携しているニュージーランドの高校から

毎年交換留学生が来るが、（今年は）ラグビー部が 20 数人来た。

ホームステイをしてもらうのだが、（ラグビー選手は）なにしろ身体がでかい。

最初まったくホームステイ先が決まらず、副校長が苦労した。最終的にはみんな受け入れられた。

南多摩の前に発表できてよかった。（会場笑い）

<南多摩会長・石井> 本日はお目付け役の副会長と会計に連れられてこちらに来た。（会場笑い）

鯨岡校長、先ほどはありがとうございました。1 つ、次のネタに加えてほしいことがある。

先ほどのお話通り、多摩とつく学校は 3 つある。青梅の多摩高校、そして北多摩、南多摩。

もう 1 つさらっと「多摩」を持って行った学校がある。それが、杉並区にある豊多摩高校。（会場笑い）

やはり 23 区なので、「豊かな多摩」と。（会場笑い）ぜひ次には加えていただきたい。

10 周年行事が無事終わった。皆さんには暖かいお祝いをいただき、感謝している。

学校の愛唱歌を PTA と先生方みんなで合唱するという 2 年プロジェクトもあった。

南多摩 110 周年も合わせてだったので、卒業生のシンガーソングライターを招いたり、

記念品を作ったり、その記念品のタオルを振ったりと、（会場笑い）すごい周年行事となった。

PTA 皆で T シャツも揃えた。周年を控えている学校は、まずは T シャツを作る。(会場笑い)
絆も深まると思うので。ぜひ参考にしていれば。

子どもたちもいろいろ頑張っている。今年から文科省の WWL (コンソーシアム構築支援事業) の
指定を受けたことで、各企業・大学と連携をして子どもたちの学びがより活性化している。
部活動も、和太鼓が佐賀国体で全国優勝した。大人も負けずと盛り上げたい。

<三鷹会長・宮内> 本日役員選考会と重なってしまい、手分けしての参加となった。

こちらに来る途中 (役員が) 無事決まったとの報告があった。立候補 2 名、推薦 8 名が
全員引き受けてくれた。定例会が終わると (他校の役員と) 会う機会もなかなかない。

(定例会へは) 来られなかったが懇親会のみ出席する役員もいるのでよろしく願います。
近況報告としては、学校行事諸々が大きなトラブルもなく無事終わりホッとしている。
役員選考などで、一部の保護者だけでなくより多くの方に協力してもらうにはどうしたらいいか、
活動内容の見直しについてなど、ご意見・アドバイスを伺いたい。

東京都教育委員会のホームページ「学校の魅力を伝えよう! 都立学校魅力 PR 動画」
通称「まなびゅ〜」にて、三鷹中高を紹介する動画が配信されている。

学校の施設を見学しているイメージで、生徒会役員の生徒たちがすべて作成した。

「まなびゅ〜」で検索すると出てくるので、ぜひ一度ご覧になっていただきたい。

6. 両国高等学校・附属中学校の後援会の活動紹介 (両国副会長・澤田)

今期の後援会トピックスとして、スカイプで総会をやった。

また、進学講演会の参加人数が多かったため、2 つの会場を WEB でつないだ。

両国祭で公式 T シャツを作り、一体感を持って活動した。

パンケーキにも焼き印をつけるなど工夫した。

メールメイトの活用など、今期は IT 化・効率化をキーワードにやってきた。

この流れで進めていきたい。

言葉で話すよりビデオで観ていただいた方が早いので、ビデオを作ってきた。(ビデオ放映 4 分)

7. 全体での意見交換「今後のいっかんズ運営」(司会: 両国会長・古賀)

はじめに いっかんズ設立経緯等 (別紙参照)

<テーマ 1: 定例会の開催時期・頻度>

・開催時期の見直しについて。(着任後あまり期間のない時期の開催はどうか。)

開催を 6 月⇒7 月に。(全会一致)

・定例会回数の見直しについて。(2 回⇒1 回にするかどうか。)

分科会相談体制維持⇒4 校くらいから出ている

(両国) 移行期間として来年だけ年 2 回 (7 月は顔合わせのみ、11 月に定例会) はどうか。

(武蔵) 1 校で 2 回、重きの置き方も含め 1 年間お任せしたらどうか。

(大泉) さすがに 1 校で年 2 回はきついのではないか。

- (富士) 1回にかけるパワーは変わらない。それが5.5年に1回なのか11年に1回なのか。そのときの幹事校の役員が大変なのは変わらない。注力の仕方が違った方向に行ってしまうのではないか。ここ数年また簡素化されてきていいと思うが。幹事校が負担になるようなやり方（分科会など）を変えていけばいいのではないか。
- (九段) 実際顔合わせにしたから負担が軽くなるかは疑問。
変な内容の指定・重みづけはここで決めることではない。
各校で自由度を決めて開催すればいいのではないか。
うちはシンプルに徹したいと思ってやった。（拍手多数）
- (両国) 一生懸命やっている学校の次（の開催）はやりにくいというのがちよつとある。
あくまでも幹事校のやり方で、競い合うことなく開催できれば。この場で共通認識としたい。
- (小石川) 重い軽いより、今安定しているこの時期に、1回にするなら今決めてしまった方がいいのではないか。変に1年置くよりも。
- (桜修館) 賛成。来年2回にするのではなく、まず1回にしてみて、不具合があれば2回に戻せばいいのでは。
- (武蔵) 賛成。2回だと、幹事校も何が変わったのかなという感じになる。
- (両国) 富士、白鷗、大泉は2回を希望だが、どうか。次の開催の白鷗はどうか。
- (白鷗) 白鷗の中でも1回2回意見は様々。1回だと問題提起に対するフィードバックができないのではないかと考えていたので、1回目で顔合わせ、2回目でしっかり、というイメージでいた。実際は学校内でもまとまっていない状態。
（会長は）両国を初めとして、6年間で11校すべて出てきた。
内容に関してはその学校に任せていいのでは。個人的には2回案。
- (大泉) 同じく2回希望。学校全体も2回希望者が多い。初年度の委員はさっぱり分からない状態でいっかんズに出る。上期は前年度からやっている人が出て、下期は初年度の人が半年間やって出る。南多摩はすごく楽しかった。うちも頑張る、という気持ちになった。
- (立川国際) 2回希望。役員が全員一斉に入れ替わってしまう。年1回だと内容の価値や意義が分からないまま終わってしまう。実は南多摩で主催者をやった経験あり。いっかんズの存在意義を考えると2回あった方がいいのではないか。
5.5年の中で同じ役員が2回準備をする機会はほとんどない。
役員の負担感は変わらないのでは。頑張り基準は当番校の判断で。
南多摩のようにヘビーにやる必要はないのでは（笑）。
両国さんもビデオなど作っていたが、いっかんズのためにあそこまでのビデオを作ってくださっていたのかと思うと頭が下がるし見る側としてはかっこいい、価値があると思うが、時間を割いてやっていただいていたと思うと、負担軽減の観点からすると過剰かも。
- (両国) 澤田ほぼほ個人の趣味で作っている。他の両国祭などで作っているものなども

利用して作っていて、このためだけに作ったものではない。

(南多摩) 名前が挙がってしまう南多摩だが(笑)、これだけの資料を作ってくれた、これだけ整理をして提案してくれた両国に感謝。初めて桜修館のいっかんズに参加しているいろいろ分かった。1回もありかと思っていたが、2回にして、その中で負担を軽減していくのが妥当かなと今は考えている。
(夜の) 懇親会なしでもいいし、先にランチ会をやるもあり。
これから PTA を担っていく人たちに形を示すためにも、せっかくのいっかんズの積み重ねを今分かっているメンバーで残していくべきでは。形骸化させるのではなく、最終的には皆で顔を合わせて議論・確認していくのはこれからの時代も必要なことなのでは。これだけのメンバーが集まって議論して、議事録として後世に残していくのが大事。

(両国) 簡単に整理すると 5 対 5 になってしまう(笑)

整理すると、実施要領は幹事校計画。2 回実施。

(白鷗) 来年幹事校だが、1 回でも 2 回でもどっちでもいい。

ぶっちゃけ質問票とか負担。実際解決になっているのか。

最終的に集まってそこで話して解決していくわけだから、

顔、声に分かっていないと連絡先など交換してもその後につながらない。

結果的に 2 回になるのではないか。やり方は幹事校一任でいい。

(小石川) 正直、東公 P (ブロック・全体会) の情報交換会も 1 回あるので、

ここで 2 回やると負担が重くなる。それぞれのところで情報交換会が 1 回あるし、

どこへ何を出すかも難しい。例えば毎回同じ話をしているのであればマンネリ化する。

時間の無駄で考えるなら、今ある議題で考えればいいのでは。

今課題が重いか軽いかな。定例会の幹事校、懇親会の幹事校でやるのはどうか。

(両国) それは今回の議論からは外させてもらっている。さらに議論を深めなければならない。

来年はとりあえず 2 回実施ということでもいいか。(全会一致)

<テーマ 2 : GMO メーリングリスト廃止対応>

代替案は必要だが、さしあたりメールの共有という形で、会長会と副会長会を編成する。

(九段) グループ編成の実現方法は？

(両国) 古賀の方で会長会に連絡し、副会長のリストを流してメールアドレスを入れてもらう。

(大泉) 普通のメールでやるのか。

(両国) 普通のメールでとりあえずやる。今の会長会のリストと一緒に。

連絡がうまくつながらない場合があるので、その辺りの補完は必要。

どれを選ぶか、管理者をどうするかなど、議論を深めていきたい。

会長会と副会長会を編成し、メールで共有するという形でいいか。(全会一致)

<テーマ 3 : 会員校別詳細調査表の維持管理>

(九段) この間更新しなかった。すごい負担感がある。詳細が 11 校分並んでいるすごい表。その更新 (エクセル管理) は結構つらいものがある。(手間・責任において。) どの学校もアクセスできる場所に置いておいて、自分たちで書きにいてもらう方がいいのでは。幹事校は旗を振るだけにしたらどうか。

(大泉) 次の白鷗に任せたらどうか。返信も各校に任せたらいいのではないか。
(今回は変更あったけど面倒なので更新していません！などもあり。)

(白鷗) 勝手にやらせていただきます。(全会一致)

<テーマ 4 : 会長会の開催・頻度>

従来通り形式にとらわれず簡易に実施。(全会一致)

8. 今日のまとめ、事務連絡など (両国後援会 会長 古賀剛毅)

開催 : 来年度は 2 回。

メーリングリスト : 古賀会長から会長会に流して共有。

詳細調査票 : 不要という意見もあるので次回幹事校白鷗に任せる。

会長会 : 形式にとらわれず適宜開催。

9. 次回に向けて (次回幹事校 : 白鷗会長・竹田)

次年度の会長はだいたい決まっているので、そちらに一任する。

今年度から白鷗は土曜日が完全休校になったため、日程を組むのが難しくなっている。

いっかんズを開く日程が決まり次第、会長会メールか何かで連絡する。

たぶん非常に楽な方法を取らせてもらうと思う。豪勢なことにはできない。

学校がむちゃくちゃ狭いし、自慢できることはない。あるとしても改修したトイレくらい (笑)。

でも打たれ弱いので思っても言わないで。

7 月にお会いできることを、(私はいないが) 楽しみにしている。

10. 閉会の言葉 (司会 : 両国副会長・北條)

これを以っていっかんズを閉会する。大変活発な情報交換ができたことに感謝したい。

また (この後の) 懇親会で情報交換できればと思う。

(澤田) 予定通りの時間に終わらなくて申し訳ない。一方で盛り上がったと思う。

皆さん飲み会が気になっていると思うが、お店に少し遅れる連絡は取ってある。(会場笑い)

以上をもって終了とする。(拍手)

以上

(議事録最終版 : 令和 2 年 3 月 22 日 渡邊)